



# 市民力の結集

## ～和の心をもって～

9月24日(水)、『平成20年第2回登別市議会定例会』が開かれ、小笠原市長が就任にあたり、市政執行に対する所信を表明しました。

今月号では、その所信表明の要旨についてお知らせします。

市長  
就任に  
あたって

市民が主役の  
日本一のまちづくり

私は、8月の登別市長選挙におきまして、市民の皆さんの温かいご支援をいただき、今後4年間、市政執行の重責を担うことになりました。今回の選挙を通して、多くの方から力強い励ましの言葉をいただく

ともに未来への切実な願いを託されました。私は皆さんからの励ましを糧に、この大好きな登別市で一人でも多くの人が笑顔で暮らしていけるよう全力をもって努めてまいります。

市政運営の  
基本的な  
考え方

市民力を結集して、安心と活力ある  
ふるさとづくりを推進するために

- ① 市民力の結集による  
開かれた行政運営の推進
- ② 地域力を活かした  
地域経済の活性化
- ③ 市民の暮らしを大切に  
したまちづくりの推進

### ① 市民力の結集による 開かれた行政運営の推進

市民が主役であるまちづくりを推進するためには、まちづくり基本条例の基本理念である『公正・公平・公開』を原則とする開かれた市政運営が必要であります。

そのために私は、5万3千人の市民の皆さんに対して常に公正・公平な市民党の立場を堅持し、市政について分かりやすく丁寧な情報発信に努めるとともに市民の皆さんとの距

離をゼロに近づけ、常に市民の声を聞くことができる場をつくりたいと考えております。

市民一人ひとりの声を市政に反映させ、市民の誰もがまちづくりの主役であるという意識の醸成が、市民の広範な参画と活発な行動という大きな市民力となり、自分たちのまちは自分たちで築いていくという生きがいと活気に満ちた新たな協働のまちづくりの扉を開くものと考えております。

### ② 地域力を活かした 地域経済の活性化

登別温泉は、先人の弛まぬ努力により、年間3百万人の観光客が訪れる世界に誇る温泉地として発展を遂げ、本年、記念すべき開湯150年を迎